

後期基本計画策定資料

- 市民アンケート調査の結果について
- 新型コロナウイルス感染症と人口減少の状況について
- 地区別将来人口推計について
- 基本計画成果指標比較一覧

市民アンケート調査の結果について

I. 調査の概要

1. 調査の目的

- 本市は、平成17年の新市合併以来、秋田県南西部の中核都市として、「人と自然が共生する躍動と創造の都市（まち）」をまちの将来像に定め、これまで施策事業を展開してきました。
- 平成27年には、次の10年を見据えた新たなまちづくり長期ビジョンとして、市政運営の最上位計画である「由利本荘市総合計画（新創造ビジョン）」を策定し、これまで前期5か年の基本計画のもとに「市民と共に歩む市政」を推進してまいりました。
- この調査は、2020年から始まる後期5か年の基本計画を策定するにあたり、まちづくりの現状や重点的な取組などに関して、市民の皆さまの幅広いご意見をお聴きし、計画に反映することを目的に実施したものです。

2. 調査の実施概要

調査対象	18歳以上の市内在住者（約63,000人）
調査期間	平成30年8月23日～9月20日
調査方法	郵送調査（郵送による配付・回収及びインターネット回答）
配布数	2,000人（対象人口の3.2%。無作為抽出）
回収数	743票（回収率37.2%） うち、郵送回収 684票（92.1%） インターネット回答 59票（7.9%）

3. 報告書の見方

本報告書を読む際の留意点は次のとおりです。

- 本文及び図表の数字は、原則として回答者の構成比率（百分率）を示しています。
- 百分率による集計では、回答者数（回答者限定設問においては該当者数）を100%として算出し、表記はすべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数第1位までを示しています。そのため、各項目比率の合計が100%に合致しない場合、複数の比率の合計が0.1%の範囲で異なる場合があります。また、複数回答の設問では、各項目比率の合計が100%を超える場合があります。
- 図表中の「0.0」は、回答者が皆無であること、もしくは、四捨五入の結果0.0%未満であることを示しています。
- 回答者総数（回答者限定設問においては該当者数）が少数の場合は、統計的誤差が大きい可能性が高いため、数値の取扱いには特に注意が必要です。
- 選択肢の語句が長い場合、本文及び図表中では省略した表現を用いる場合があります。

【平成15年調査および平成25年調査との比較】

- 一部の問いでは、「本荘由利一市七町合併住民アンケート（平成15年4月実施）」と「由利本荘市総合計画（新創造ビジョン）策定のための市民アンケート（平成25年11月実施）」の結果と比較し、15年間の市民意識の変化を確認しています。

Ⅱ. 調査結果の詳細

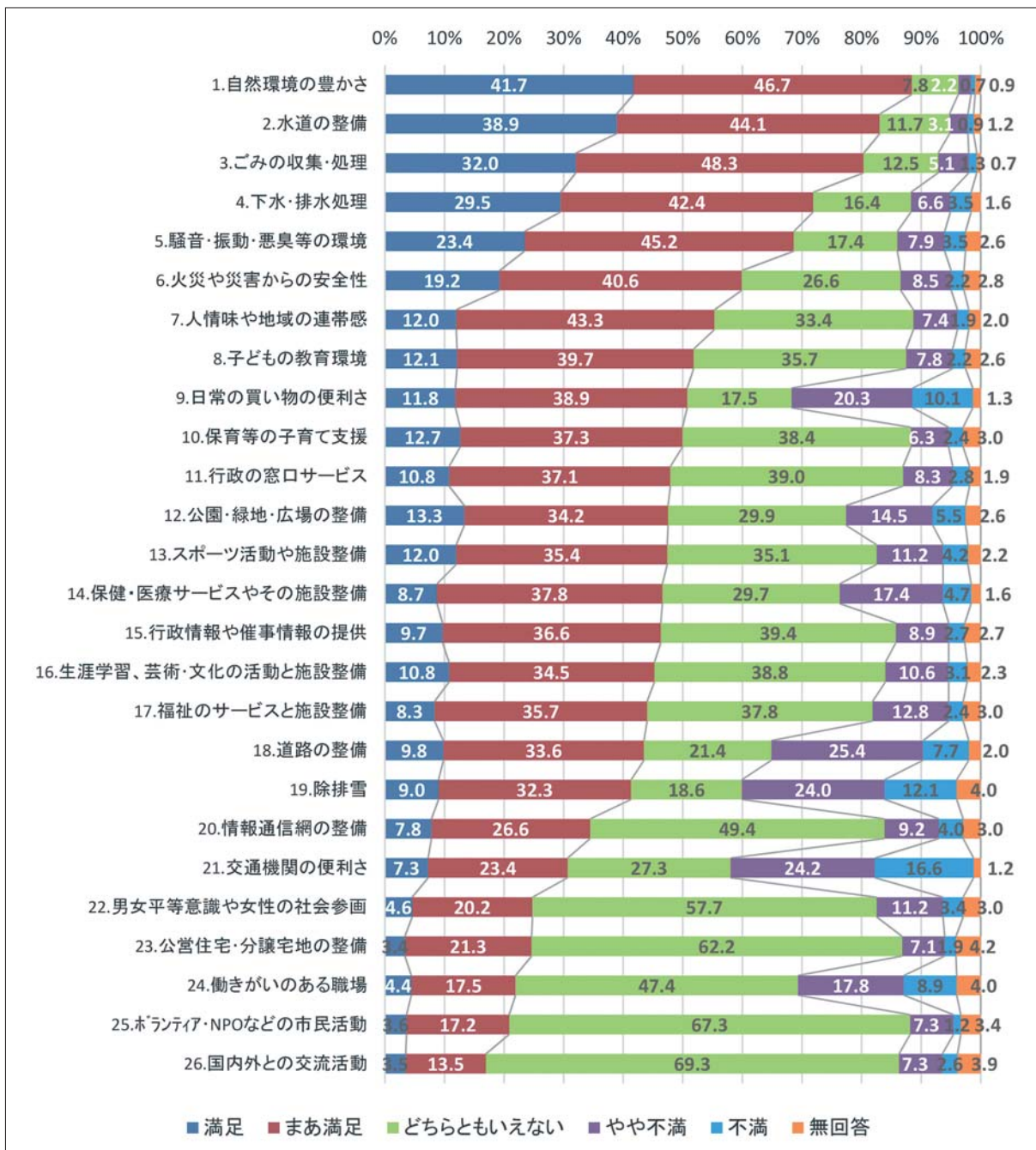
1. 「由利本荘市の暮らし」について

地域環境や施策に対する満足度を把握するための設問です。

問. あなたは現在、暮らしている地域の環境をどう思いますか。(項目ごとに1つ)

各項目の回答で、「満足」と「まあ満足」を合わせた割合が大きい順に棒グラフで表します。

- 「満足」と「まあ満足」を合わせた割合は、「自然環境の豊かさ」が88.4%と最も高く、「水道の整備」が83.0%、「ごみの収集・処理」が80.3%で続いています。
- 一方で、「国内外との交流活動」は17.0%と低くなっていますが、「不満」と「やや不満」を合わせた割合も同様に9.8%と低く、「どちらでもない」が69.3%と最も高くなっています。



この設問は、「本荘由利一市七町合併住民アンケート（平成15年4月実施）」と「由利本荘市総合計画（新創造ビジョン）策定のための市民アンケート（平成25年11月実施）」でも同様に聴いており、これらの結果と比較することで、地域環境や施策に対する市民の満足度の変化を知ることができると考えられます。

○ 「満足」と「まあ満足」を合わせた割合は、全ての項目で過去2回のアンケート結果を上回っています。

● このことから、由利本荘市の地域環境や施策に対する市民の満足度は、全体的に向上してきていると考えられます。

【単位：％】

由利本荘市の暮らし	H 30		H 25		H 15	
	順位	満 足 +まあ満足	順位	満 足 +まあ満足	順位	満 足 +まあ満足
1. 自然環境の豊かさ	1	88.4	1	83.0	1	79.6
2. 水道の整備	2	83.0	3	77.7	2	70.6
3. ごみの収集・処理	3	80.3	2	78.9	3	67.8
4. 下水・排水処理	4	71.9	4	63.8	6	51.6
5. 騒音・振動・悪臭等の環境	5	68.6	5	62.4	4	55.4
6. 火災や災害からの安全性	6	59.9	6	51.9	5	54.6
7. 人情味や地域の連帯感	7	55.3	7	49.0	7	45.7
8. 子どもの教育環境	8	51.8	8	43.2	9	41.3
9. 日常の買い物の便利さ	9	50.7	9	42.5	10	40.0
10. 保育等の子育て支援	10	49.9	12	37.3	14	36.8
11. 行政の窓口サービス	11	47.9	16	34.2	17	35.0
12. 公園・緑地・広場の整備	12	47.5	11	38.8	8	41.9
13. スポーツ活動や施設整備	13	47.4	15	34.8	16	35.2
14. 保健・医療サービスやその施設整備	14	46.6	18	32.8	12	38.4
15. 行政情報や催事情報の提供	15	46.3	13	35.8	15	35.6
16. 生涯学習、芸術・文化の活動と施設整備	16	45.2	14	35.2	19	30.9
17. 福祉のサービスと施設整備	17	44.0	17	32.8	18	34.4
18. 道路の整備	18	43.5	10	39.9	13	36.9
19. 除排雪	19	41.3	19	29.6	11	38.9
20. 情報通信網の整備	20	34.5	20	28.4	21	26.1
21. 交通機関の便利さ	21	30.7	21	25.2	20	29.1
22. 男女平等意識や女性の社会参画	22	24.8	22	20.5	23	19.5
23. 公営住宅・分譲宅地の整備	23	24.6	23	19.0	22	24.4
24. 働きがいのある職場	24	21.9	25	12.9	26	11.4
25. ボランティア・NPOなどの市民活動	25	20.9	24	15.9	24	15.9
26. 国内外との交流活動	26	17.0	26	11.6	24	15.9

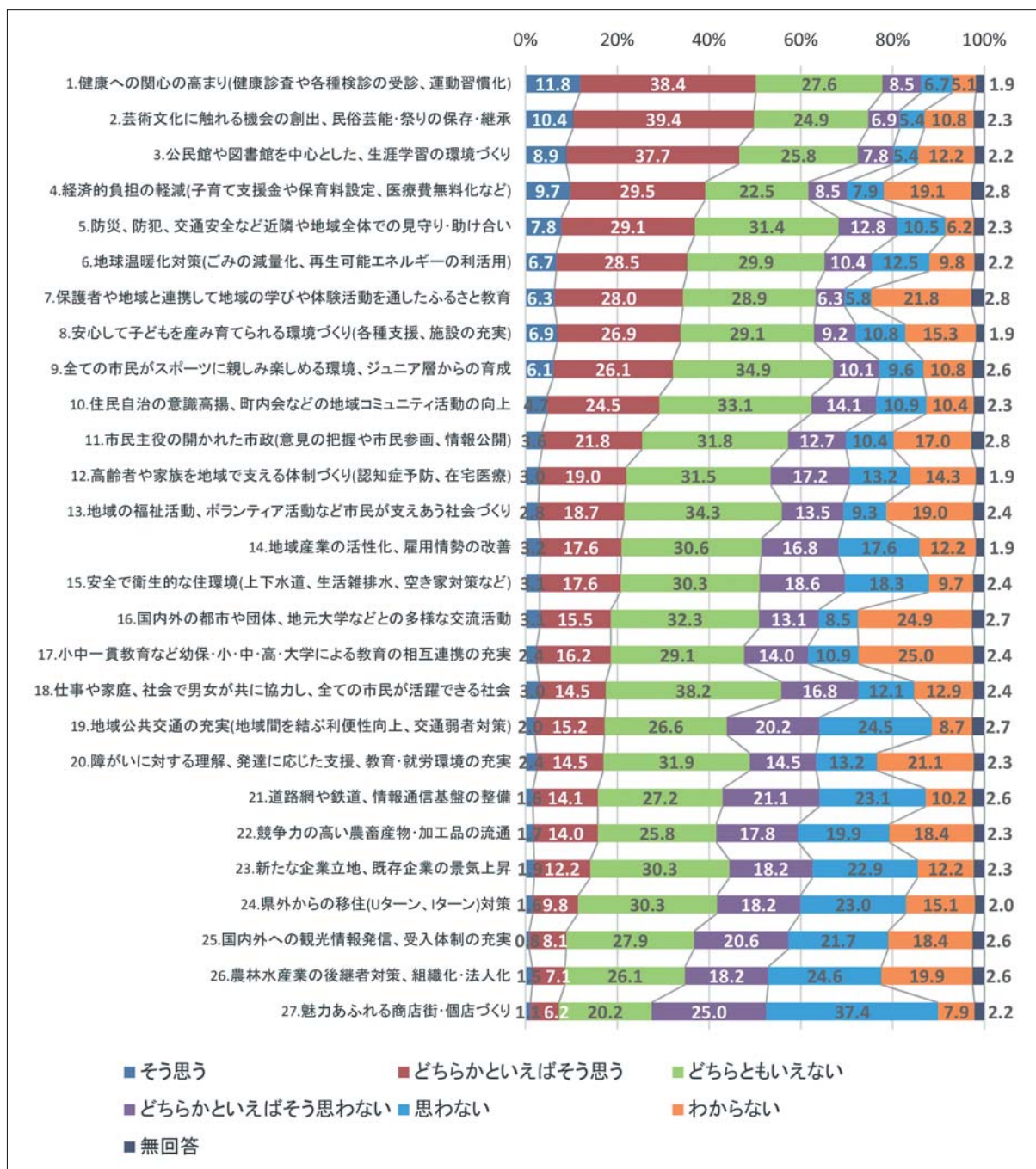
2. 「これまでのまちづくり」について

新創造ビジョン前期基本計画の取組効果をどれだけ実感しているか把握するための設問です。

問. あなたは、由利本荘市の最近5年間のまちづくりをどのように感じていますか。(項目ごとに1つ)

各項目の回答で、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合が大きい順に棒グラフで表します。

○ 「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、「健康への関心の高まり(健康診査や各種検診の受診、運動習慣化)」が50.2%と最も高く、「芸術文化に触れる機会の創出、民俗芸能・祭りの保存・継承」が49.8%、「公民館や図書館を中心とした、生涯学習の環境づくり」が46.6%で続いています。



3. 「これからのまちづくり」について

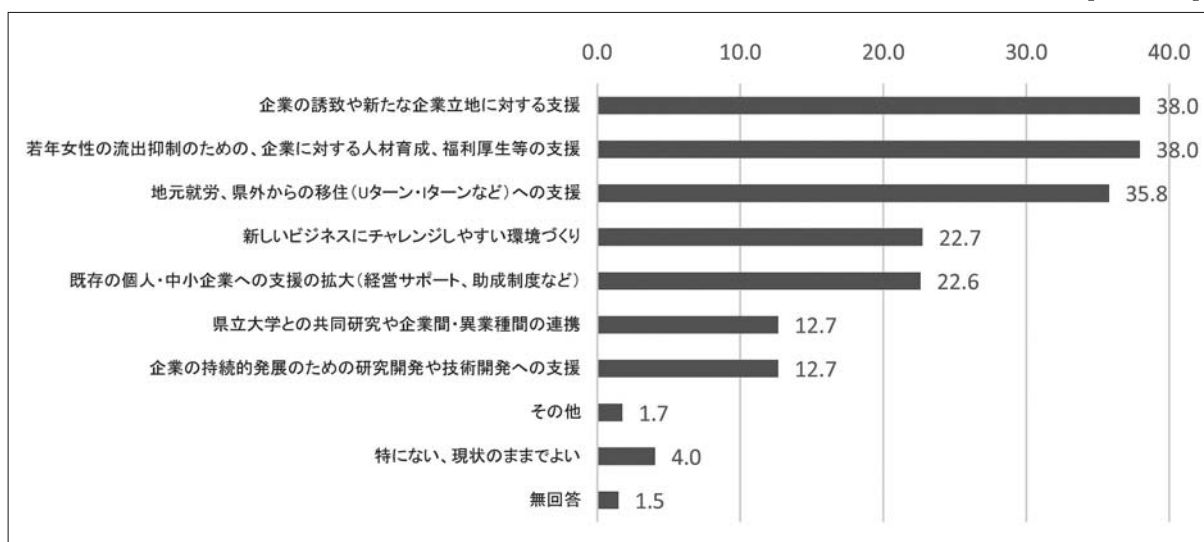
これからのまちづくりに、市民が特に期待する取組を把握するための設問です。

各項目の回答について、回答率が高い順に棒グラフで表します。なお、複数回答としていることから、回答率の合計は100%と一致しません。

問. 「地域産業の活性化」のために、特に必要なことは何だと思えますか。(主なもの2つまで)

- 「企業誘致と新たな企業立地に対する支援」、「若年女性の流出抑制のための、企業に対する人材育成、福利厚生等の支援」が共に38.0%と最も高く、「地元就労、県外からの移住(U・Iターンなど)への支援」が35.8%で続いています。
- 一方で、「県立大学との共同研究や企業間・異業種間の連携」や「企業の持続的発展のための研究開発や技術開発への支援」などの割合は12.7%と低くなっています。
- これらのことから、成果が現れるまで時間のかかる「企業の研究開発や技術開発に対する支援」よりも、「雇用対策や働く場の確保」など、即効性のある対策を望んでいると考えられます。

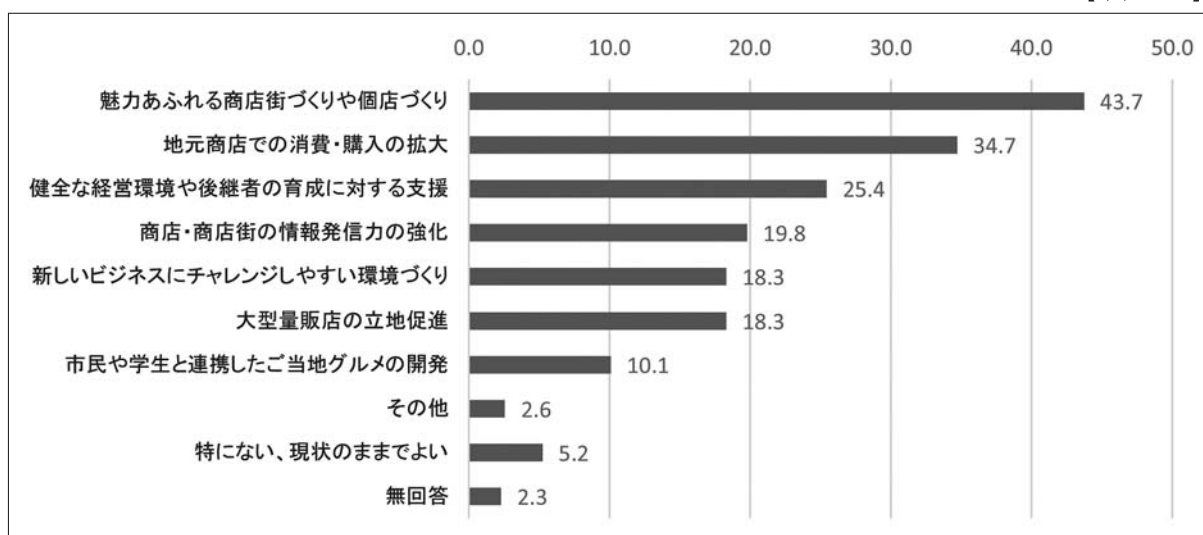
【単位：％】



問.「商業・商店街の活性化」のために、特に必要なことは何だと思えますか。(主なもの2つまで)

- 本市の商業の活性化として、「魅力あふれる商店街づくりや個店づくり」の割合が半数近くの43.7%と最も高く、「地元商店での消費・購入の拡大」が34.7%、「健全な経営環境や後継者の育成に対する支援」が25.4%で続いています。
- 一方で、相対する「大型量販店の立地促進」が18.3%と低くなっています。
- これらのことから、「地元商店の存続」に対する危機感を持ち、「事業者の経営意欲の向上」と「自らの消費行動」による「地域活力とにぎわいの創出」への思いがあると考えられます。

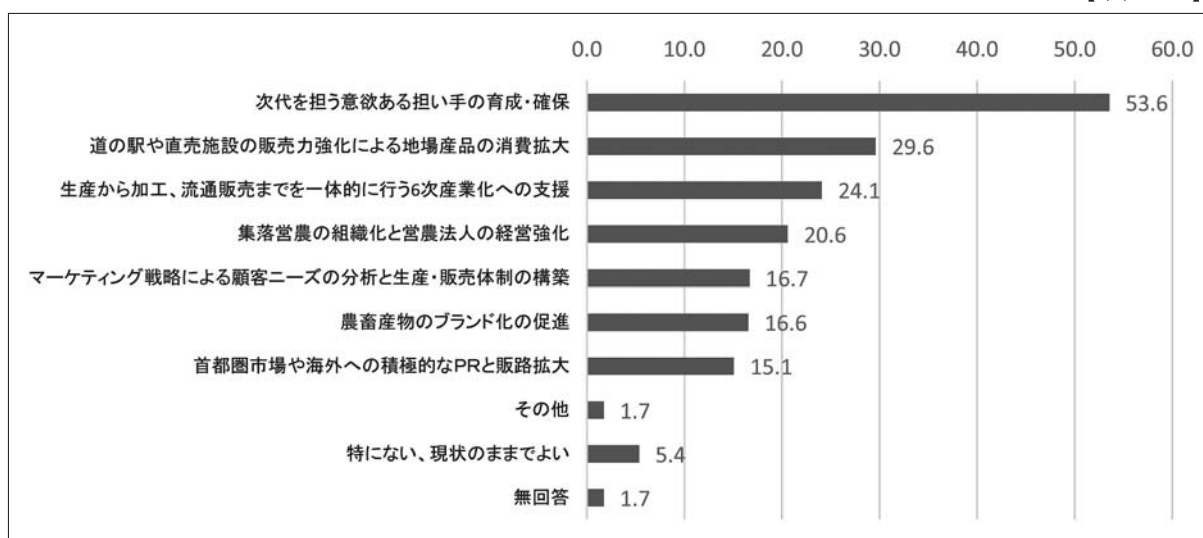
【単位：％】



問.「農業生産者と農作物の活性化」のために、特に必要なことは何だと思えますか。(主なもの2つまで)

- 「次代を担う意欲ある担い手の育成・確保」の割合が53.6%と半数を超え、「道の駅や直売施設の販売力強化による地場産品の消費拡大」、「生産から加工、流通販売までを一体的に行う6次産業化への支援」、「集落営農の組織化と営農法人の経営強化」が20%台で続いています。
- これらのことから、特に「担い手不足」に対する危機感が強いことが考えられます。また、「地場産品の消費拡大」や「6次産業化への支援」、「営農組織の法人化」などから、「農家収入の拡大」と「経営基盤の強化」を望んでいることも考えられます。

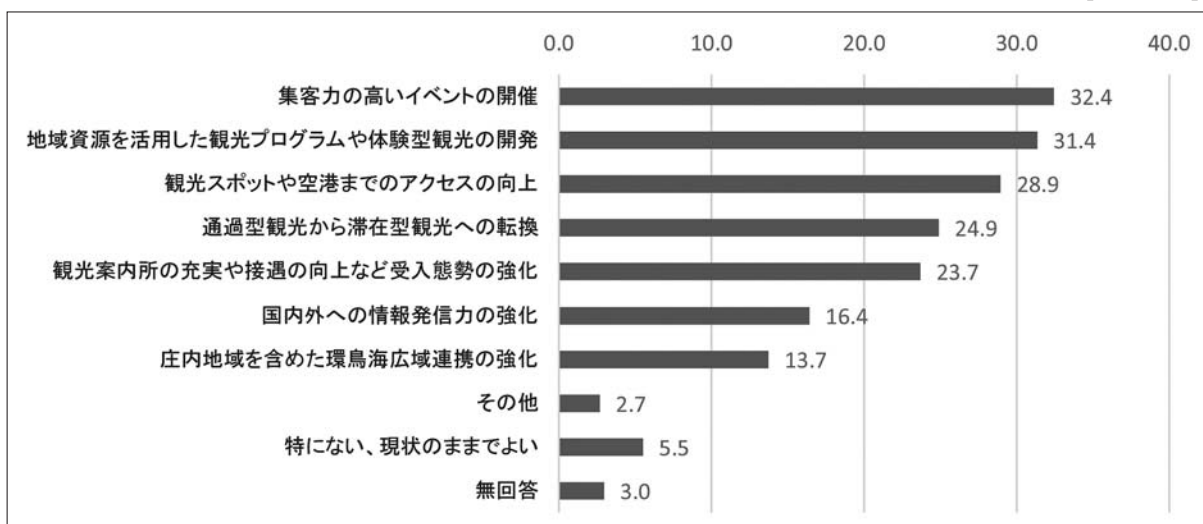
【単位：％】



問. 「観光振興による交流人口の拡大」のために、特に必要なことは何だと思えますか。(主なもの2つまで)

- 「集客力の高いイベントの開催」の割合が32.4%と最も高く、「地域資源を活用した観光プログラムや体験型観光の開発」が31.4%、「観光スポットや空港までのアクセスの向上」が28.9%で続いています。
- これらのことから、「イベントの開催や観光開発」による誘客促進・交流人口の拡大を望む一方で、「アクセスの悪さ」がその弊害としてあると認識していることが考えられます。

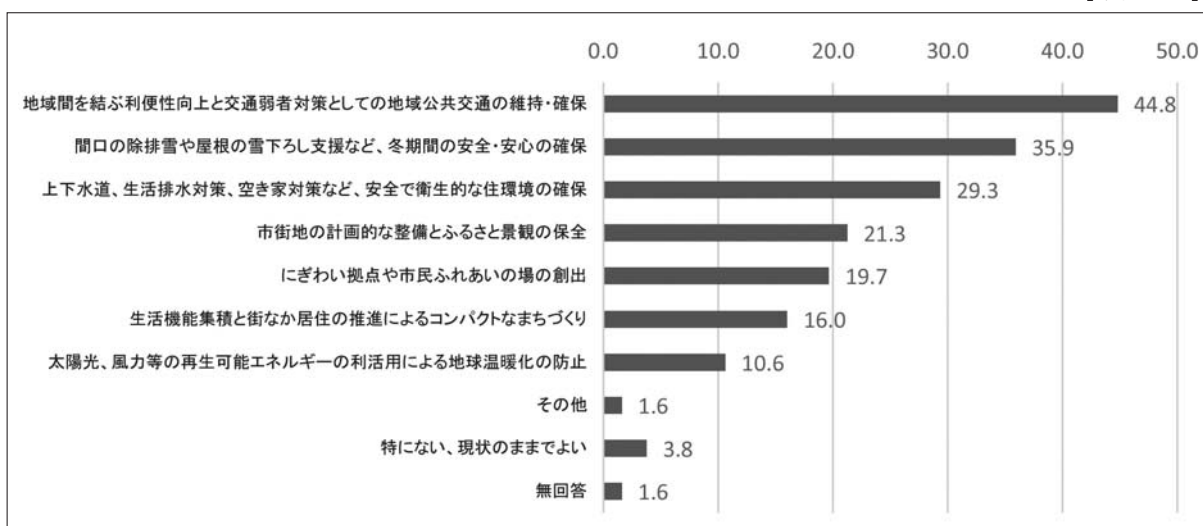
【単位：％】



問. 「快適な住環境づくり」に向けて、特に必要なことは何だと思えますか。(主なもの2つまで)

- 「地域間を結ぶ利便性向上と交通弱者対策としての地域公共交通の維持・確保」の割合が半数近くの44.8%と最も高く、「間口の除排雪や屋根の雪下ろし支援など、冬期間の安全・安心の確保」が35.9%、「上下水道、生活排水対策、空き家対策など、安全で衛生的な住環境の確保」が29.3%で続いています。
- 一方で、「生活機能集積と街なか居住の推進によるコンパクトなまちづくり」は16.0%と低くなっています。
- これらのことから、住み慣れた地域で将来にわたり、安全・安心な生活を送りたいと望んでいることが考えられます。

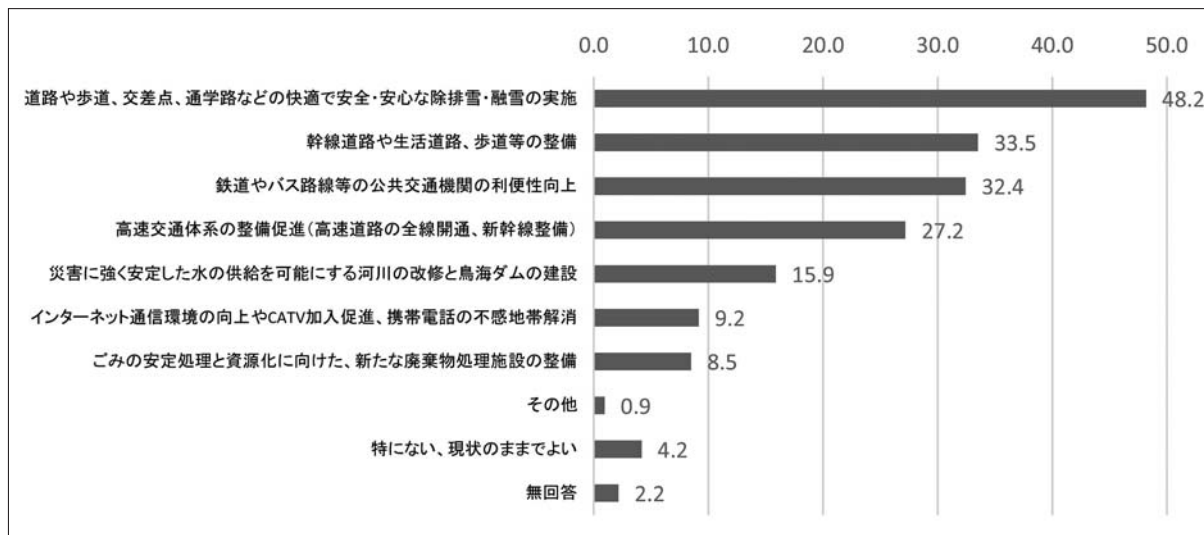
【単位：％】



問.「社会基盤や生活環境」を整備する上で、特に必要なことは何だと思えますか。(主なもの2つまで)

- 「道路や歩道、交差点、通学路などの快適で安全・安心な除排雪・融雪の実施」の割合が半数近くの44.8%と最も高く、「幹線道路や生活道路、歩道等の整備」が33.5%、「鉄道やバス路線等の公共交通機関の利便性向上」が32.4%で続いています。
- これらのことから、「安全・安心な交通環境の確保」に対する期待が大きいと考えられます。

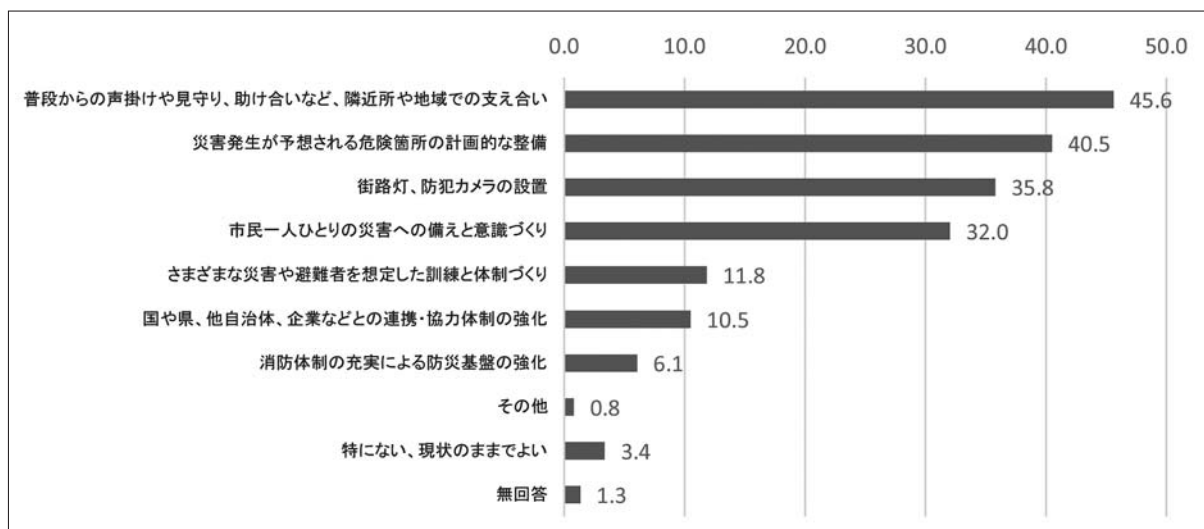
【単位：％】



問.「防災・防犯・交通安全のまちづくり」に向けて、特に必要なことは何だと思えますか。(主なもの2つまで)

- 「普段からの声掛けや見守り、助け合いなど、隣近所や地域での支え合い」の割合が半数近くの45.6%と最も高く、「災害発生が予想される危険箇所の計画的な整備」「街路灯、防犯カメラの設置」「市民一人ひとりの災害への備えと意識づくり」が続いています。
- これらのことから、「自助、共助」のまちづくりの意識が高い一方で、行政に対しては「危険箇所の整備」や「街路灯、防犯カメラの設置」など、ハード面の対策を望んでいると考えられます。

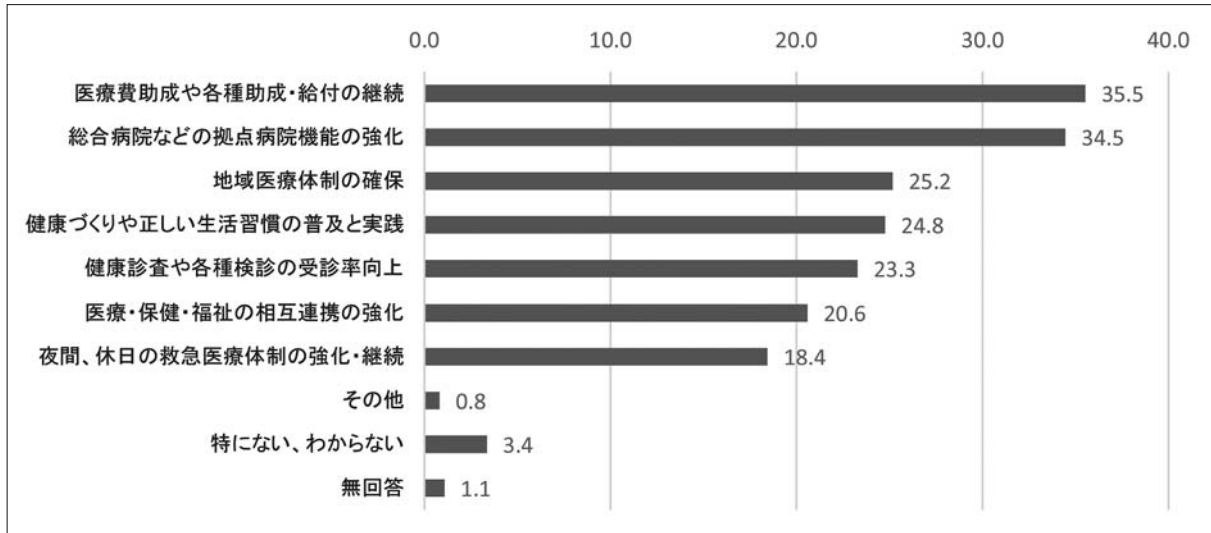
【単位：％】



問.「保健・医療の充実」のために、特に必要なことは何だと思えますか。(主なもの2つまで)

- 「医療費助成や各種助成・給付の継続」の割合が35.5%と最も高く、「総合病院などの拠点病院機能の強化」が34.5%で続いています。
- 「経済的負担の軽減」への要望が大きいほか、アンケートの自由意見で「市内総合病院の診療科目の縮小と医師不足」を不安に思う声が多かったことから、「拠点病院機能の強化」が大きな課題になっていると考えられます。

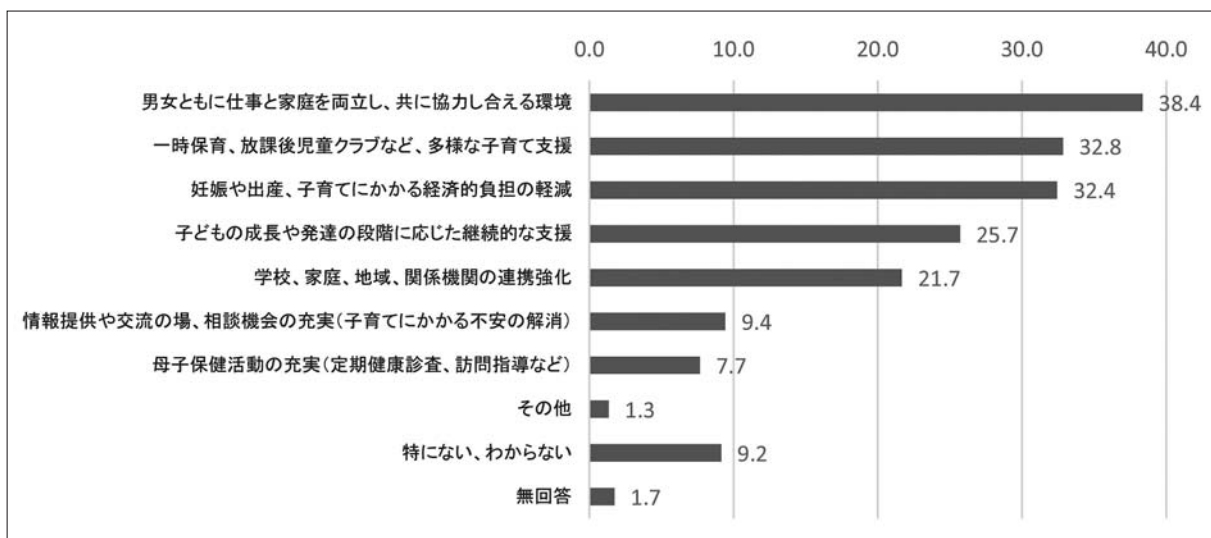
【単位：％】



問.「子ども・子育て支援の充実」のために、特に必要なことは何だと思えますか。(主なもの2つまで)

- 「男女ともに仕事と家庭を両立し、共に協力し合える環境」の割合が38.4%と最も高く、「一時保育、放課後児童クラブなど、多様な子育て支援」が32.8%、「妊娠や出産、子育てにかかる経済的負担の軽減」が32.4%で続いています。
- これらのことから、「経済的負担の軽減」のような直接的な子育て支援以上に、女性が働きにくい仕事・職場環境の改善や、家庭での夫婦の役割分担など、「仕事と家庭の両立によって安心して妊娠や出産、子育てのできる環境の整備」を望んでいることが考えられます。

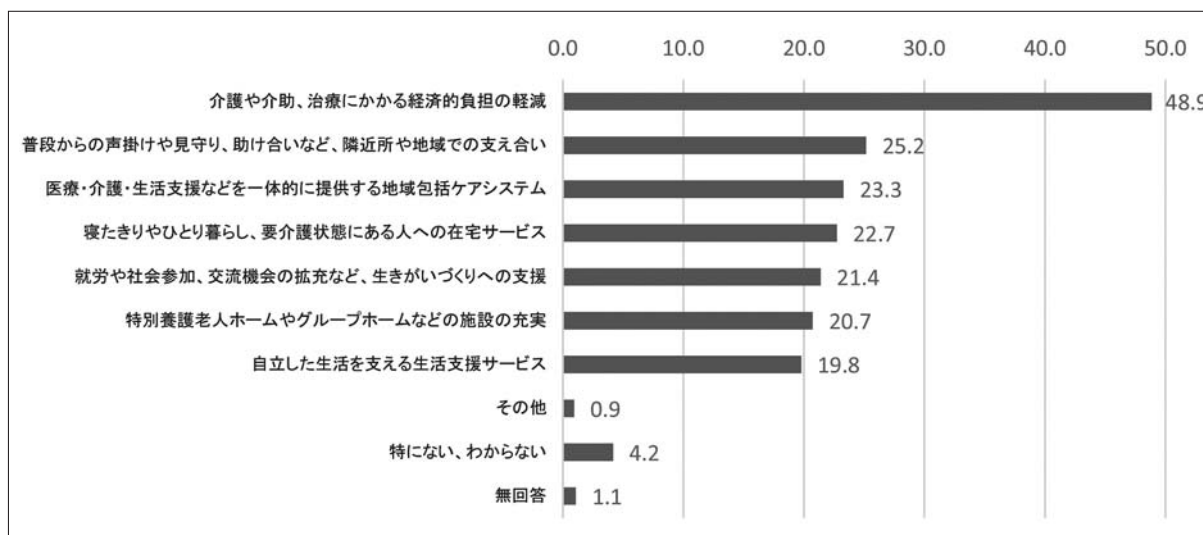
【単位：％】



問.「高齢者福祉の充実」のために、特に必要なことは何だと思えますか。(主なもの2つまで)

- 「介護や介助、治療にかかる経済的負担の軽減」の割合が半数近くの48.9%と最も高く、「普段からの声掛けや見守り、助け合いなど、隣近所や地域での支え合い」、「医療・介護・生活支援などを一体的に提供する地域包括ケアシステム」、「寝たきりやひとり暮らし、要介護状態にある人への在宅サービス」が20%台で続いています。
- これらのことから、「介護や介助、治療にかかる経済的負担」が大きく、将来に対する不安感も強いと考えられます。また、住み慣れた地域で、家族や地域の支え合いのもとに老後を送る「在宅生活」への期待が大きいことも考えられます。

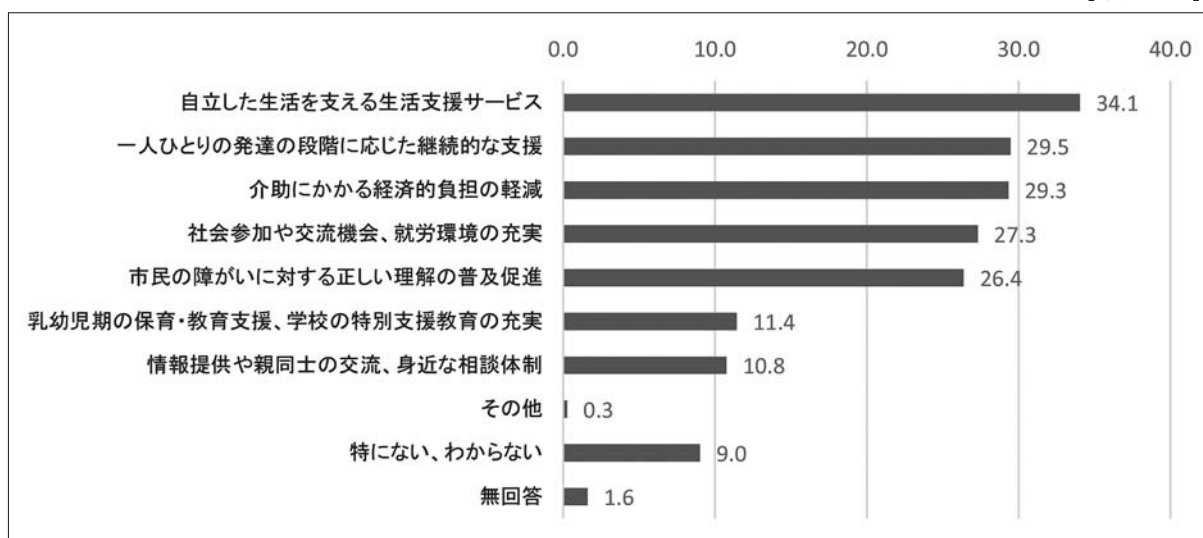
【単位：％】



問.「障がい者福祉の充実」のために、特に必要なことは何だと思えますか。(主なもの2つまで)

- 「自立した生活を支える生活支援サービス」の割合が34.1%と最も高く、「一人ひとりの発達の段階に応じた継続的な支援」、「介助にかかる経済的負担の軽減」が29.5%、「社会参加や交流機会、就労環境の充実」が29.3%、「社会参加や交流機会、就労環境の充実」が27.3%、「市民の障がいに対する正しい理解の普及促進」が26.4%で続いています。
- これらのことから、「市全体の障がいに対する理解」のもとに、地域社会の中での「自立と共生」を望んでいることが考えられます。

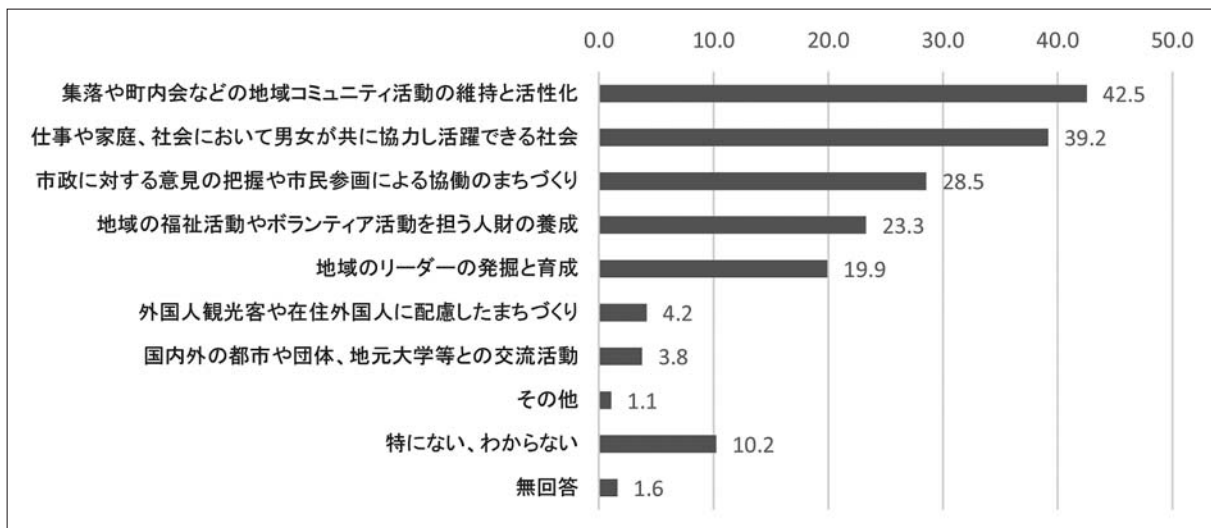
【単位：％】



問. 「市民役のまちづくり」に向けて、特に必要なことは何だと思えますか。(主なもの2つまで)

- 「集落や町内会などの地域コミュニティ活動の維持と活性化」の割合が42.5%と最も高く、「仕事や家庭、社会において男女が共に協力し活躍できる社会」が39.2%、「市政に対する意見の把握や市民参画による協働のまちづくり」が28.5%で続いています。
- 人口減少による「地域コミュニティの衰退」への危機感と、家庭での家事・育児・介護の役割分担や女性が働きにくい仕事・職場環境など「家族や社会等からの支援」を必要とする現状があり、市政に対しては「更なる市民意見の反映と積極的な関わり」を求めていると考えられます。

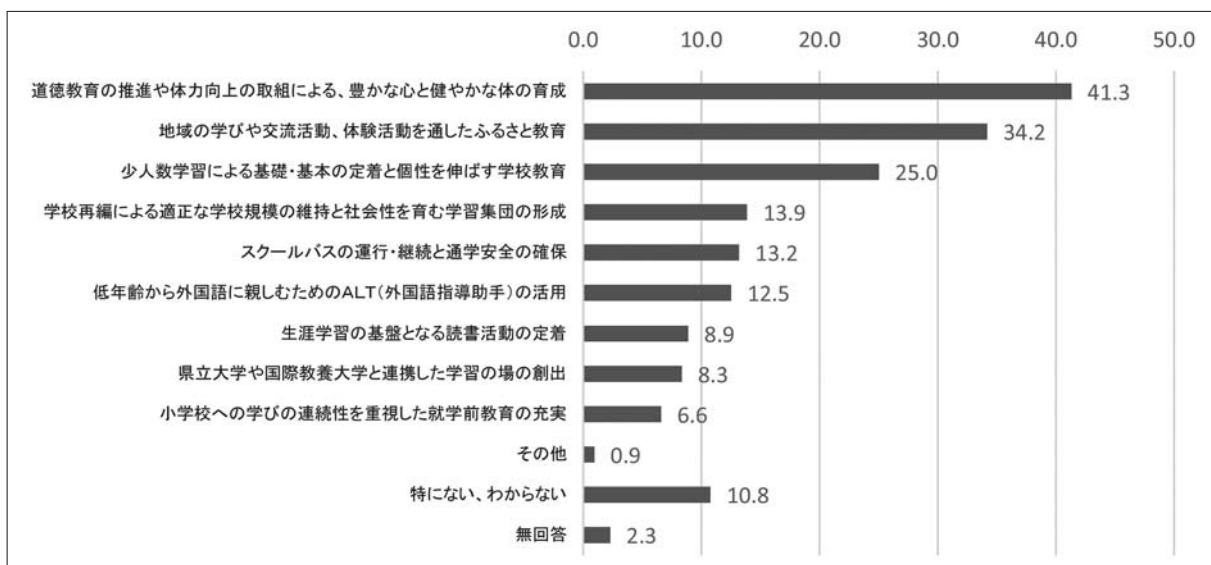
【単位：％】



問. 「豊かな心とふるさと愛を育む教育の推進」に向けて、特に必要なことは何だと思えますか。(主なもの2つまで)

- 「道徳教育の推進や体力向上の取組による、豊かな心と健やかな体の育成」の割合が41.3%と最も高く、「地域の学びや交流活動、体験活動を通したふるさと教育」が34.2%、「少人数学習による基礎・基本の定着と個性を伸ばす学校教育」が25.0%で続いています。
- これらのことから、「少人数学習」によって個々の能力を育み、「体育活動やクラブ・部活動」に主体的に取り組むと共に、人間としてよりよく生きるための基礎となる「道徳性の育成」と「コミュニティ・スクールを核としたふるさと教育」の推進への期待が大きいことが考えられます。

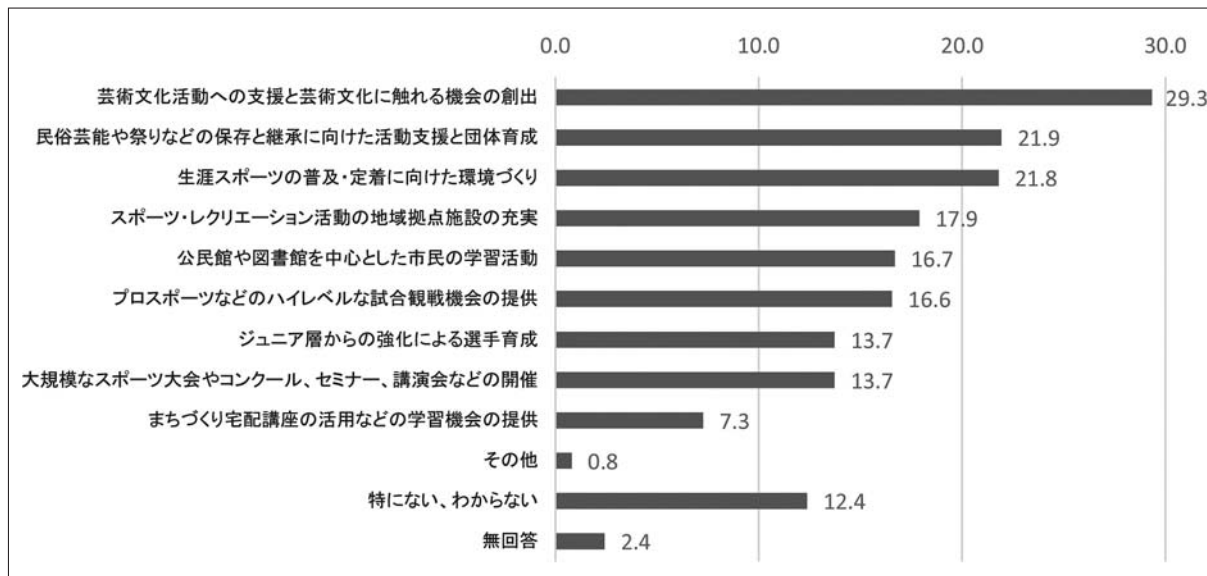
【単位：％】



問.「生涯学習・芸術文化・スポーツの振興」に向けて、特に必要なことは何だと思えますか。(主なもの2つまで)

- 「芸術文化活動への支援と芸術文化に触れる機会の創出」の割合が29.3%と最も高く、「民俗芸能や祭りなどの保存と継承に向けた活動支援と団体育成」が21.9%、「生涯スポーツの普及・定着に向けた環境づくり」が21.8%で続いています。
- これらのことから、「いつでも・どこでも」市民が芸術文化に触れ、「生涯にわたってスポーツに親しみ、楽しめる」環境づくりを望む一方で、人口減少によって「古くから伝わる民俗芸能や地域の祭り」が衰退し活動休止する現状や、将来の保存・継承を危ぶむ意識が強くあることが考えられます。

【単位：％】



4. 「人口減少社会における取組」について

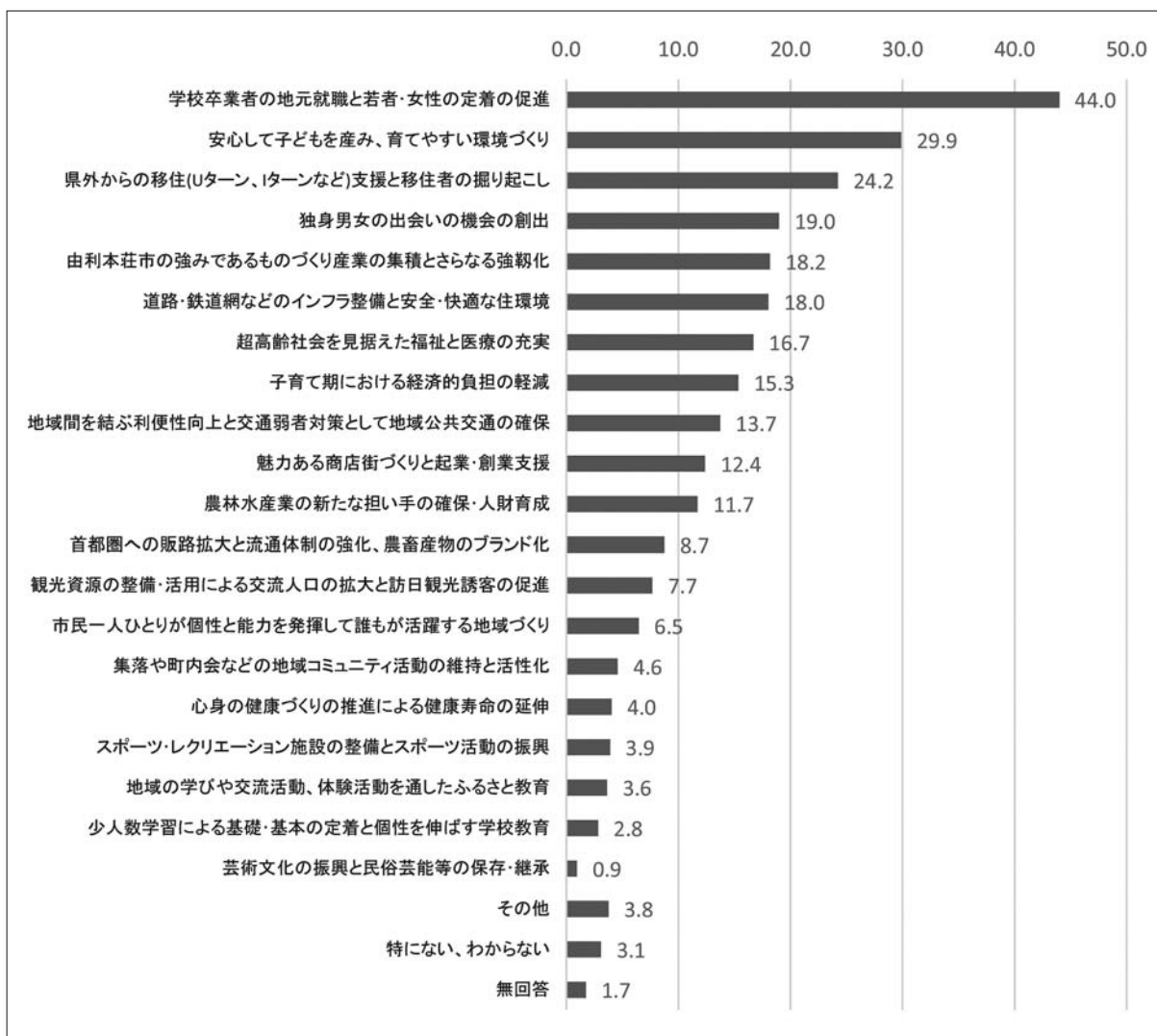
本市が直面する人口減少問題に関し、市民が特に期待する取組を把握するための設問です。

各項目の回答について、回答率が高い順に棒グラフで表します。なお、複数回答としていることから、回答率の合計は100%と一致しません。

問. 全国的に人口減少が進むなか、由利本荘市に必要とされていることは何だと思えますか。(主なもの3つまで)

- 「学校卒業者の地元就職と若者・女性の定着の促進」、の割合が半数近くの44.0%と最も高く、「安心して子どもを産み、育てやすい環境づくり」が29.9%、「県外からの移住（Uターン、Iターンなど）支援と移住者の掘り起こし」が24.2%、「独身男女の出会いの機会の創出」が19.0%、「由利本荘市の強みであるものづくり産業の集積とさらなる強靱化」が18.2%で続いています。
- 選択肢が多いため回答が割れた印象を受けますが、その中でも、「若年層や女性の地元離れ」に対する危機感が非常に大きいことが考えられます。そのため、「県外からの移住・定住対策」や「地域産業の活性化」による大都市圏を中心とした人口流出の抑制を望んでいることが考えられます。
- さらに、「独身男女の結婚支援」や「子どもを産み育てやすい環境づくり」による少子化対策に対する期待も大きいと考えられます。

【単位：％】



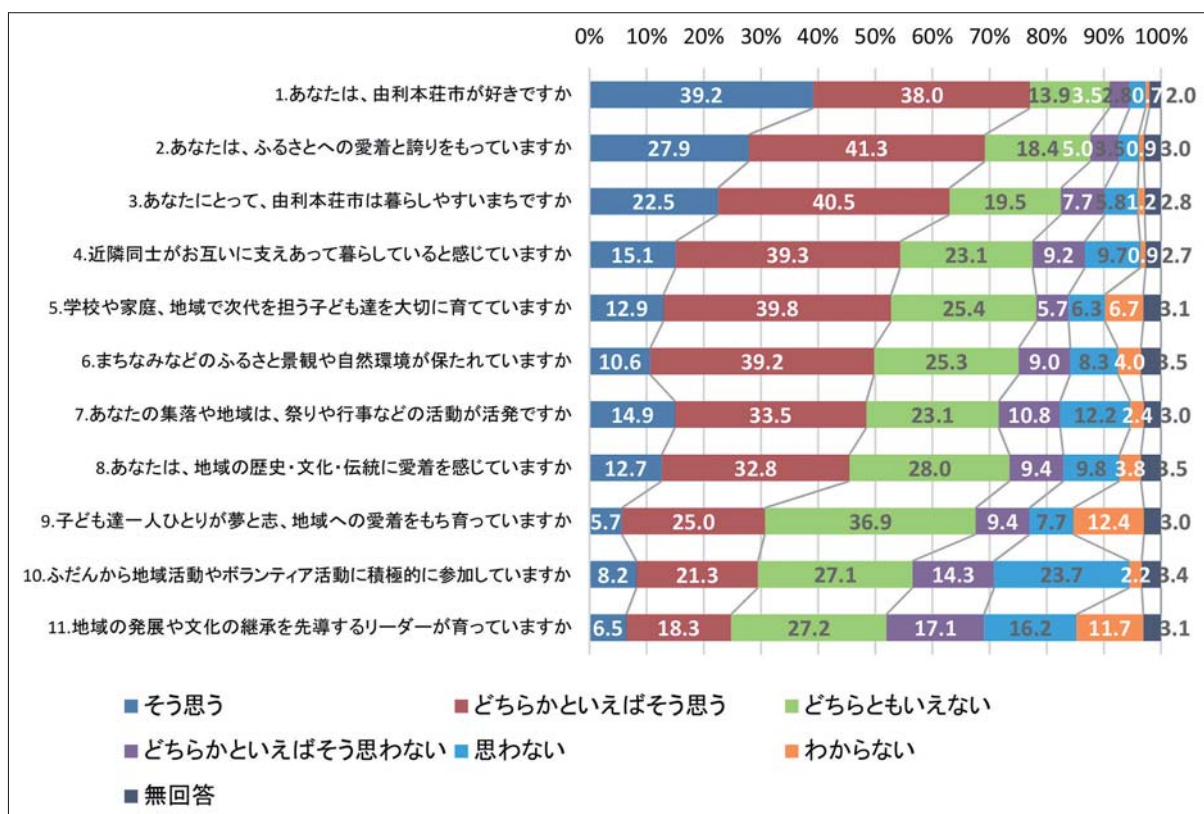
5. 「由利本荘市に対する愛着『ふるさと愛』」について

地域への愛着や地域活動などから、由利本荘市に対する市民の意識を把握するための設問です。

問. ふだんの暮らしの中で、あなたの考えに近いものを選んでください。(項目ごとに1つ)

各項目の回答で、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合が大きい順に棒グラフで表します。

- 「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、「あなたは、由利本荘市が好きですか」が77.1%と最も高く、「あなたは、ふるさとへの愛着と誇りをもっていますか」が69.2%、「あなたにとって、由利本荘市は暮らしやすいまちですか」が63.0%が続いています。



問. あなたは、これからも由利本荘市で暮らしたいと思いませんか。あなたの考えに近いものを選んでください。(1つのみ)

- 由利本荘市に「ずっと住み続けたい」と答えた割合が71.9%と最も高くなっています。
- 「由利本荘市総合計画（新創造ビジョン）策定のための市民アンケート（平成25年11月実施）」の結果と比較すると、「ずっと住み続けたい」の割合が増加し、「できれば転居したい」の割合が減少しています。
- これらのことから、市民にとっての住みやすさや由利本荘市への愛着は、全体的に向上していると考えられます。

